

# ■ 策定に当たって

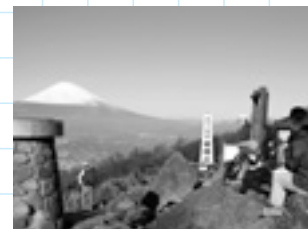
## 1 策定の趣旨

我が国の総人口は2005（平成17）年から減少に転じており、本格的な人口減少社会に向けた新たな社会システムの構築が急がれています。

神奈川では、引き続き総人口が増加しているものの、合計特殊出生率は低下傾向にあり、今後、高齢化の急速な進行も予想されています。このため、進行する少子化、高齢化への対応を一層進めるとともに、将来到来する人口減少社会への備えを今の段階から着実に進めていくことが求められています。

さらに、国際化や情報化の進展、産業構造の転換や働き方の多様化、環境問題や暮らしをめぐる様々な課題、地方分権改革の進展など、県政をとりまく社会環境も大きく変化しつつあります。

こうした状況の変化を踏まえ、県では、「神奈川力構想・プロジェクト51」及び「神奈川力構想・地域計画」を継承しつつ、神奈川力を高め、新たな時代を創造することを基本に、「神奈川力構想・基本構想」を策定しました。



## 2 計画の期間と構成

「神奈川力構想・基本構想」は、神奈川をとりまく社会環境の変化を踏まえ、概ね20年後（2025（平成37）年）の神奈川の望ましい将来像と政策の基本方向を明らかにしました。